

令和6年（2024年）11月教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年（2024年）11月26日（火）午後1時30分～午後3時00分

会 場 柏崎市役所4階4－4会議室

出席者	教育長	近 藤 喜 祐
	委員（教育長職務代理者）	阿 部 健 志
	委員	米 谷 杉 子
	委員	飯 塚 政 雄
	委員	霜 田 真紀子

説明のため出席した職員

教育部長	本 間 和 人
教育総務課長	田 辺 文 敏
学校教育課長 兼	
教育センター所長	矢 沢 欣 也
文化・生涯学習課長	窪 田 守
スポーツ振興課長 兼	
水球のまち推進室長	藤 巻 久 之
図書館長	徳 間 正
博物館長	西 巻 隆 博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理	布 施 豊
-----------	-------

議 題

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 教育長専決処理報告
 - （1）令和6（2024）年度一般会計補正予算（第12号）について
 - （2）柏崎市立博物館等業務専門員任用要綱の一部改正について
- 3 審議事項
 - （1）新潟県柏崎市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
 - （2）第三次柏崎市子ども読書活動推進計画（かしわざき子ども読書プラン）（案）について
 - （3）柏崎市立日吉小学校及び中通小学校の統合後の校名について
- 4 報告事項
 - （1）「マナビーステージ in かしわざき2024」の開催報告について
 - （2）第22回柏崎マラソンを開催しました
 - （3）令和6年度柏崎市内企業ウォーキング対抗戦「めざせ！かしわざきウォー王（キング）」を開催しました

- (4) 2024第3回スポーツレクリエーショングランプリ「モルック」を開催しました
- (5) 外国人とのスポーツ交流会を開催しました
- (6) ドイツ人が新潟産業大学に水球留学しています
- (7) 「読書週間ぬりえ展」の実施報告について
- (8) 共催・後援の事業について

5 その他

- (1) 12月定例会の日程について
- (2) その他

＜ 午後1時30分 開会 ＞

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に「(2) 柏崎市立博物館等業務専門員任用要綱の一部改正について」と審議事項に「(3) 柏崎市立日吉小学校及び中通小学校の統合後の校名について」を追加することとし、審議事項の柏崎市立日吉小学校及び中通小学校の統合後の校名については、教育委員会会議規則第15条1項ただし書の規定により非公開で審議することとしたい。併せて、審議の日程を「その他」終了後としたいが、よろしいか。

(全委員)

異議なし。

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、阿部委員、霜田委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

- (1) 令和6(2024)年度一般会計補正予算(第12号)についてを議題とする。

(教育総務課長)

職員人件費は各課共通だが、本市職員の給料等については、新潟県職員に準拠している。新潟県人事委員会勧告により給与改定が行われたことに伴い、本市職員の給料、期末・勤勉手当を含む各種手当、共済費を増額措置したものである。

また、時間外勤務手当については、業務量の増加等により予算の不足が見込まれる文化・生涯学習課、スポーツ振興課、水球のまち推進室、図書館について、必要額を増額措置したものである。

続いて、教育総務課所管分についてだが、小学校の「学校管理運営費」237万7千円増額は、令和7(2025)年度に新設及び増設予定の特別支援学級及び通級指導教室の備品を今年度中に整備するものである。次に、中学校の「学校管理運営費」35万5千円増額は、令和7(2025)年度に新設予定の通級指導教室の備品を整備するものである。

続いて、「給食施設管理経費」196万9千円増額は、今年3月に閉鎖した中央地区第2

学校給食共同調理場の利活用の可能性の幅を広げべく、厨房機器等の撤去費用を措置したものである。

続いて、「学校給食費」１，２６９万７千円増額は、学校給食で使用する食材の物価高騰をうけ、賄材料費が不足することに伴い、必要額を措置するものである。

(文化・生涯学習課長)

文化会館管理運営費５４７万７千円増額と産業文化会館管理運営費１８２万７千円増額は、電気、ガス及び水道等の価格が高騰し、指定管理施設の運営維持に影響が出ていることから、支援を行うため措置するものである。

(スポーツ振興課長)

体育施設管理運営経費１，８３８万８千円増額は、光熱水費等の高騰に伴い、市内１５体育施設の指定管理料の支援を行うため措置するものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(２) 柏崎市立博物館等業務専門員任用要綱の一部改正についてを議題とする。

(博物館長)

現在の業務専門員が１２月末で辞職することになった。現要綱における業務専門員には、登録博物館等での実務経験が３年以上、又はプラネタリウムの操作等の業務経験が３年以上といった要件を定めている。しかし、近年では人材確保が難しい状況であるため、これらを緩和する。また、学芸員資格が必須要件との誤解が生じないようにするため、号の順番を変更する。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

以前、柏崎市のプラネタリウムの機械を入れ替えたと思うが、機械や集客規模などを含めた他市での状況を知りたい。また、３年要件を廃止することによる業務への支障は生じないか。

(博物館長)

ご指摘のとおり、柏崎市のプラネタリウムの機械は新しいものになっているため、操作だけであれば経験は重要ではない。投影するだけであれば、ワンタッチで出来る。ただ、天体解説の場面は一定の知識が必要となる。これは日々の業務で知識を習得してもらえれば対応が出来る考える。

柏崎市と同規模のプラネタリウムは村上市にある。季節上映を行っているのは、いくつかあるが、通年上映を行っているのは柏崎市と村上市である。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(近藤教育長)

(1) 新潟県柏崎市立図書館設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正についてを議題とする。

(図書館長)

令和6(2024)年12月2日から新たな健康保険証が発行されなくなり、猶予期間を経て廃止される。申請書を提出するとき、本人確認に用いる事項に例示として健康保険証の記載があるため様式を変更する。なお、運用上は今までどおり運転免許証やパスポートなどで確認する。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

(近藤教育長)

(2) 第三次柏崎市子ども読書活動推進計画(かしわざき子ども読書プラン)(案)についてを議案とする。

(図書館長)

第二次柏崎市子ども読書活動推進計画(かしわざき子ども読書プラン)の計画期間が今年度末で終了する。第三次計画に向け、子どもや保護者、学校などの関係者に「子どもの読書に関するアンケート調査」を行うとともに、柏崎市立図書館協議会と子ども読書に関係する部署で構成する柏崎市子ども読書プラン推進会議に現状を報告し、協議を行ってきた。本日の審議後、来年1月8日までにパブリック・コメントを実施し、2月の定例教育委員会で最終(案)を報告、令和7(2025)年度から実施する。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(飯塚委員)

親が本を読む、読まないで子どもに対する影響が大きいと思う。幼少期の読書を考えると、保護者に対して読書の大切さをしっかり広報していくべき。読書の大切さや効果など、より1歩踏み込んだ具体例みたいなものを発信して、興味を持ってもらえるよう周知していくのが大事だと思う。

(図書館長)

興味を変えることはなかなか難しいところだが、ブックスタートという生後4か月検診に合わせ本を2冊配る事業を行っている。そのフォローアップとして、親から図書館に足を運

んでいただいて、読み聞かせ例のお話をさせてもらうなど、非常に好評をいただいている。

ただ、今提案いただいた実例や体験談を交えながら意識を醸成していくことは必要だろうと思うので、参考にさせていただきたい。

(米谷委員)

私の子どもが小学校５・６年生のとき、学校図書に精通している職員が配属された。その時、学校図書館が見違えるように整理され、子どもの興味がわくような本の配置がされて、朝読書を含め読書活動が充実していた記憶がある。読書活動は学力アップにも繋がるし、子どもの精神的な落ち着きにもいいと思う。

学校で「この１冊」という本や絵本に出会う機会があると、さらにもう１冊読むなど世界が広がると思うので、学校生活の中にも読書活動の場を作っていただけたらと思う。

(学校教育課長)

読解力は、今求められている学力の重要な一つで、柏崎市に限らず小・中学生に課題のある学力でもある。読解力は読み物資料を読み解く力でもあり、読み物資料だけでなく、図表、メモなどを関連させながら読み解く力が求められている。各学校において、朝読書だけでなく、国語の授業や他の教科も含めて、要約したことを発表する活動を取り入れているが、今のご指摘を踏まえて、各学校に話題を提供していきたい。

(近藤教育長)

学校図書に精通した職員は司書教諭と思われる。試行的に配置したのか、または、一般教諭とは別に配置してくれたのかわからないが、今、図書館司書を配置しているのは新潟市だけだと思う。政令指定都市だから可能なのであって、それ以外の市町村はなかなか難しいと思う。別枠で司書教諭を配置できないため、図書館に特化した活動が出来ていない。

教職員の配置は県が担当である。今後、機会あるごとに司書教諭の加配としての配置を要望していきたい。

(霜田委員)

２点ほど、意見、質問させてもらう。

１点目は、アンケートにあるとおり、読書好きでない人は、聞いた情報により本を優先して選んでいる傾向にあるが、本が好きな人は自分で選ぶ。読書習慣が無い人や嫌いな人は、本自体を選ぶのが苦手なのもわかる。私自身、読書に興味があるときは続けて読むが、下火になると興味が薄れていく。

活動の中の一つで、年代別お勧めリストの作成があるが、読書習慣のない子に対して、言い方や表現を変え、お勧めして読んでもらうことが一つのきっかけだと思う。飯塚委員の意見と少し似た方向性だが、有名人が読んでお勧めしている、そんな紹介をすれば小・中学生にとってきっかけになると思う。

２点目は、図書館に行かない理由として、図書館までの距離が遠いことを理由に挙げている人が増えている。ＩＣＴ技術を活用し、「図書館が遠い」を言い訳にしないためにも積極的にタブレットで本が読めるよう小・中学校で活用を取り組んでもらいたい。小中学生に配られているタブレットで読書が出来る仕組みになっているか。

(学校教育課長)

読書が出来る環境になっていない。

(霜田委員)

ぜひ、活用できるよう取り組んでもらいたい。

(図書館長)

読書が苦手な子ども達に、本を読んでもらえるような働きかけを何かしていかなければと思っています。

図書館との物理的な距離については、電子書籍の導入も考えていきたい。

(飯塚委員)

並べられている本以外に在庫として倉庫などに本があると思うが、例えば、「お声掛けしただけであれば探して、お出しします。」とわかりやすく表示してもらえれば、利用者としては非常にありがたい。また、その対応に感謝も生まれると思うので、システムなど活用して広報していただきたい。

(図書館長)

現在でも、オープンな案内をしているが、もう少し努力して気軽に声をかけてもらえるようにしていきたい。

(米谷委員)

図書館への距離の問題だが、学校図書を充実させれば、学校には子ども達が行くので本を借りることができる。

可能かどうかはわからないが、例えば科学や音楽などの雑誌を教室に置いてもらえれば、各自の興味に合う本を見つけて、読書を楽しむ時間を持ってもらえると思う。

(学校教育課長)

教職員の個々によって差があるが、児童生徒に興味をもってもらうため、自分のクラスに本を置いている学校は多くある。また、児童生徒に購入してほしい本のアンケートを実施し、図書室の中に置いているところもある。

(阿部委員)

この計画が柏崎市教育大綱などとの整合性を図りながら、2月までの最終策定に向けて整理していただきたい。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課（館）長が資料に沿って説明

- (1) 「マナビィステージ in かしわざき 2024」の開催報告について
- (2) 第22回柏崎マラソンを開催しました
- (3) 令和6年度柏崎市内企業ウォーキング対抗戦「めざせ！かしわざきウォー王（キング）」を開催しました
- (4) 2024第3回スポーツレクリエーショングランプリ「モルック」を開催しました
- (5) 外国人とのスポーツ交流会を開催しました
- (6) ドイツ人が新潟産業大学に水球留学しています

(7) 「読書週間ぬりえ展」の実施報告について

(8) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

(1) 12月定例会の日程について 12月24日(火)午後1時30分開会

(2) その他

(近藤教育長)

議案説明員以外の職員の退席を求める。

(近藤教育長)

審議事項に入る。本審議は、非公開で行う。

(3) 柏崎市立日吉小学校及び中通小学校の統合後の校名についてを議題とする。

<非公開審議>

< 午後3時00分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和6年(2024年)12月24日

教育長 近 藤 喜 祐

委 員 阿 部 健 志

委 員 霜 田 真紀子